

# 令和6年度 災害総合訓練実施結果報告書

有限会社 中川観光バス

実施日時	令和6年 11月7日 (木) 午前 9時30分 ~ 11時00分 まで 天候 晴れ/曇り
事故発生想定日時	同日、午前 9時40分 事故発生→火災発生
事故想定内容	信号待ち中に普通乗用車がバスに追突、その弾みでバスが押し出され前の普通乗用車に衝突。追突事故に伴い普通乗用車、バス後部より白煙、火災発生の恐れが、大規模火災、多数の負傷者が想定されるもの
訓練参加人員	(有)中川観光バス本社・大郷営業所 以下 22名 / 黒川消防本部職員 以下 7名
訓練の種類	通報訓練・避難訓練・応急処置訓練・社内対応訓練・消火器取扱・煙体験
訓練の概要	別紙「令和6年度 災害総合訓練実施要項」による。



訓練指導員から説明



事故想定現場



AM 9時40分 訓練開始

## <行動①>

・事故発生後、負傷者の有無を確認し、事故状況を確認する為車外に行きます。乗客のその旨を伝え、不安動揺を静めるようにする。  
 ・冷静敏速に行動し事故状況の把握につとめる。



## <行動②>

・二次災害防止のため、三角停止表示板・発煙筒により後方防護及び輪止めをする。



## <行動③>

・事故状況を確認したところ火災の恐れがあるため、避難する旨を乗客に伝え運転者の指示に従うように伝える。  
 ・負傷者を優先に乗客を避難場所へ誘導します。後方から追突した運転手も避難場所に誘導します。



<行動④>

- ・ 消防署（119番通報）へ救急車の手配
- ・ 初期消火（水消火器）火点に向けて交互に初期消火活動を行います。



<行動⑤>

- ・ 直轄の営業所に事故の報告をする。  
※報告内容は訓練概要による。
- ・ 避難場所で待機している傷病者・負傷者の応急処置を行う。乗客の中に医師または看護師等がいるかどうか呼びかけを行い、他の乗客にも協力要請をする。
- ・ 救急車が到着するまで傷病者・負傷者の応急手当と乗客の体調変化の有無を確認し、これに最善を尽くすこと。
- ・ 第一報を受けた運行管理者は、報告内容を記録し、運転者が動揺しないように落ち着いた指示（再確認）を出す。
- ・ 事故について上司及び代表者へ報告、対策本部を設置する。
- ・ 現場連絡役として、運行管理者（補助者）を派遣し現場との連絡役に。整備管理者（補助者）は、事故車両の状況、代替車を担当させる。



AM 10時15分訓練終了

《訓練終了後》

- ・ 発煙機を用いてバス車内に煙を充満させ、煙の中での正しい避難方法や注意事項について学びました。
- ・ 消火器の取り扱いや使用方法について学びました。

最後に黒川消防署様より講評をいただきAM 11:00「令和6年度 災害総合訓練」が無事終了しました。  
※後日、訓練の反省、見直し改善を踏まえたミーティングを予定している。

有限会社 中川観光バス  
安全統括管理者 中川

